

## 実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関について 審議に際しての視点の例

- 1) 既存の学校種における職業教育の実態や課題等を踏まえ、新たな高等教育機関においてどのような職業人を養成すべきと考えるか（主に想定される職業分野や職種等）。
- 2) 実践的な職業教育を行う高等教育機関として魅力あるものとするにはどのような特色を持ったものとするべきか。
  - （ 教育内容や授業の方法（実践的な演習型授業、インターンシップ等の実習等）  
教員に求める要件や資格・教員組織等（実務卓越性、教員数等）  
施設・設備 等 ）
- 3) 実践的な職業教育を重視する上で、産業界の協働をどう確保すべきか。
  - （ 教育課程（教育カリキュラム）編成への企業等の学外者の参画  
企業等からの実務家教員の積極的な登用  
第三者評価等への産業界の関与 等 ）
- 4) 修了者の社会的・国際的な評価や、円滑な就職・進学等を確保するにはどうすべきか。
  - （ 修業年限、卒業要件  
学位・称号の付与  
大学への編入学、大学院への接続  
第三者評価など質保証の在り方 等 ）
- 5) 社会人の学び直しニーズに対応しうる仕組みとするにはどうすべきか。
- 6) その他